

# ほまれ通信

2022年12月号

謹啓

師走の候、冬の寒気が身にしみる頃となりました。行く年を惜しみながらも活気溢れるこの季節、皆様方におかれましては益々のご繁栄をお祈り申し上げます。今年も1年間、ほまれの家横浜とクオリティロードへご愛顧を賜り、本当にありがとうございました。コロナ禍の折、寒さや風邪にお気をつけて楽しいクリスマス、そしてぬくもりのあふれる元旦をお迎えください！



謹白

令和四年 冬至

ほまれの家横浜 デザインチーム H・S

## 年末年始の横浜・東京での生活困窮者・ホームレス生活支援について

今年も残り一か月を切りましたが、毎年年末年始になると、赤い羽根共同募金の地域歳末助け合い運動など、生活困窮者や障害者世帯への年越し支援活動が始まります。ここ横浜では毎年、年末年始は有名な日雇い労働者やホームレスの方々への支援活動、「寿越冬闘争」が始まります。こちらの運動は中区の寿町で1973年からスタートして今年で49年目を迎えます。「誰も、凍死者を出さないで、病人を出さないで、この冬を越える」をテーマに毎年12月中旬からのテント設営から始まり、29日頃から1月3日まで、炊き出しや医療・労働・法律などの各種相談、カンパ受付、横浜駅・関内駅周辺のホームレスさん達への夜の差し入れ（毛布やカイロ、軽食）巡回パトロールのボランティアなどが行われています。ここ数年はコロナ禍や不況の影響もあり、イベントの自粛やボランティアさんの人手不足、各ボラさん達のお仕事とのスケジュールの両立に悩まされておられるとの事で、「自己責任のもとでぜひ支援をしてみたい」と思われた方々、参加やカンパ・物資寄付をご検討されてみてはいかがでしょうか？。

今年スケジュールは、この原稿を書いている時点ではまだ公式HPではアップされていないものの、実行委員会さんのリンクとQRコードを貼っておきますので、お問い合わせはそちらを参照してください。

「寿越冬闘争実行委員会 公式HP」 <https://yokohama-kotobuki.jimdofree.com/>



その他、首都圏近郊で経済的に困窮していて、「今年の年末は年を越せるかが不安……」という方々のために、「ビッグイシュー基金」が公表している、「東京で路上生活をしている人に炊き出し・医療相談・生活相談・入居支援などの活動をしている民間団体一覧」へのリンクとQRコードも貼り付けておきます。

[https://bigissue.or.jp/action/guide/tokyo\\_support/](https://bigissue.or.jp/action/guide/tokyo_support/)



コロナ禍と長引く不況の波で、今は働けて衣食住も何とか維持できてはいても、一寸先の生活は誰にも分からない時代ですが、使える支援制度や行政サービスはフルに使って、少しでも多くの方々が安心して新年を迎えることが出来ることを切にお祈りいたします。

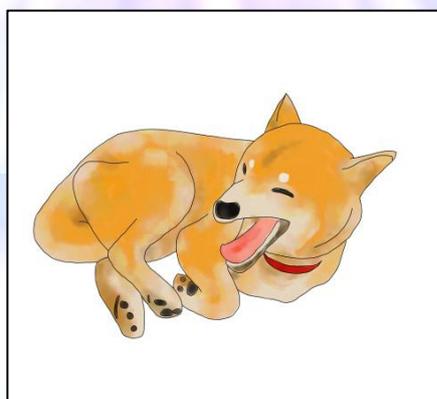
## コラム：宝くじが当たった!……ら、どうしましょう??

今年も年末ジャンボ宝くじの発売シーズンになりました。例年テレビで東京・有楽町の数寄屋橋宝くじ売り場の賑わいが流れてきたりして、一攫千金の夢を買うために近所の行列に並ぶ方々も多いと思います。万が一高額当選をしたらどうやって使おうかと思ひ、家族や友達と分けて……、と考える人もおられるでしょうが、ここで一つ注意点があります。筆者がたまたま Twitter で「納税通信」という税理士さん向けの新聞記事を見た時に知ったのですが、宝くじには税金がかからないのはよく知られてますが、当選後の贈与となるとそうはいかず、仮に10億当たって5億を譲渡するとなると、基礎控除110万を引いた残りの4億9890万円に最高税率の55%を掛け、そこから控除額の400万を差し引いた、約2億7000万円が贈与税として持っていかれることになり、そうすると5億を分けても手元に残るのは半分以下の2億3000万円だけとなる、なんとも悲しい結果となります……。

そこで当選金を減らさずにするための合法の節税対策として、共同購入したことにするという手があります。当選金を受け取る際に、分けたい相手と一緒に銀行の窓口へ行き、共同で購入したことを伝え、当選金が共同で受け取れて、贈与税も回避することが出来ます。ただしここでもう一点、注意するのが受け取りの際に銀行が発行する「当選証明書」を厳重に保管しておくこと。税務調査で5億の出どころを聞かれた際にこの証明書を見せることで、余計な疑いを持たれずに済みます。……まあ、ここまで書いても、いずれも捕らぬ狸の皮算用なのですが、夢、それもお金にまつわる夢は大きくもちたいですねえ……(苦笑い)。



## ほまれギャラリー



左イラストはデザインチームの yako さんによるクリスマスイラスト。淡麗なグリーンของ Christmas カラーを基調に、華やかな中にもほのぼのした優しさがにじみ出る一枚です。なんとなくキャラクターと構図を見て、美味しいパンケーキを焼く有名な絵本の二匹を連想するのは筆者だけでしょうか?(笑)。

中央の柴犬と右の猫(メインクーン)のイラストは、このほまれギャラリーでもたびたび素敵な写真を提供してくださっている、会計チームのしかさんの筆によるものです。柴犬くんは丸みと暖色で表現された生命感がなんとも見ていて和やかな気持ちにさせてくれます。右の猫ちゃんは柴犬くんとは対照的に細身なペン画で毛並みを詳細に描くことで猫独特の凛々しさを感じさせる一枚に仕上がっています。

今年も一年、ほまれ通信、ほまれギャラリーをご拝読いただき、本当にありがとうございました。

来年もメンバーの素敵な作品群を紹介していきますので、どうぞお楽しみに。

それでは皆様、良いお年を!

株式会社クオリティロード  
就労継続支援 A 型事業所  
ほまれの家 横浜

